



100V/200V 兼用
小型・軽量 直流パルスTIG溶接機

TIG WELDING MACHINE スターゴン

STAR GON

DC200

待望の“TIG溶接機”
遂に誕生!!

- TIG 溶接
- 手棒 溶接
- 100v/200v 兼用
- PFC 機能
- メモリ 機能
- パルス 機能 ※TIG溶接



写真はイメージです。

バリエーション豊富な設定

溶接電流調整ダイヤル

出力電流の調整設定。
 ・【100V】 TIG：10～110A / MMA：10～70A
 ・【200V】 TIG：10～200A / MMA：10～170A

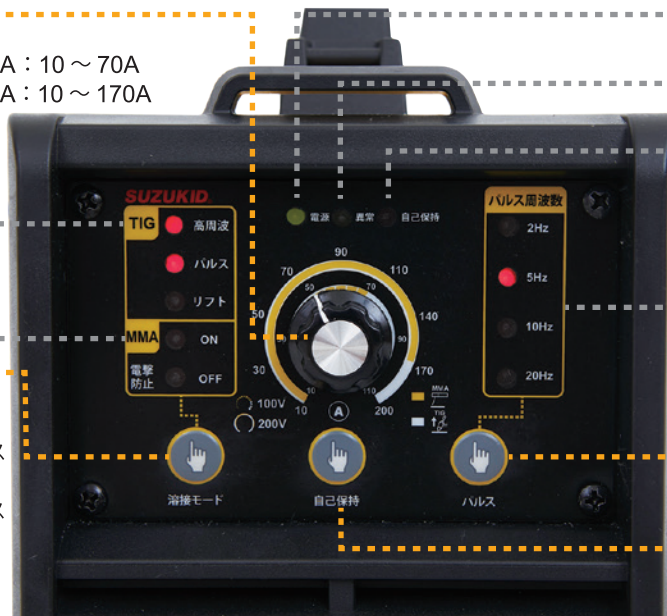
TIG溶接モードランプ

手棒溶接(MMA)モードランプ

溶接モード切替ボタン

TIG溶接 / 手棒溶接(MMA)の詳細設定が可能。

- ・TIG溶接：高周波式スタート・パルス
- ・TIG溶接：高周波式スタート
- ・TIG溶接：リフト式スタート・パルス
- ・TIG溶接：リフト式スタート
- ・手棒溶接(MMA)：電撃防止ON
- ・手棒溶接(MMA)：電撃防止OFF



電源ランプ

異常ランプ

自己保持ランプ

パルス周波数ランプ

パルス周波数切替ボタン

TIG溶接時のパルス周波数を4段階【2Hz,5Hz,10Hz,20Hz】に調整可能。

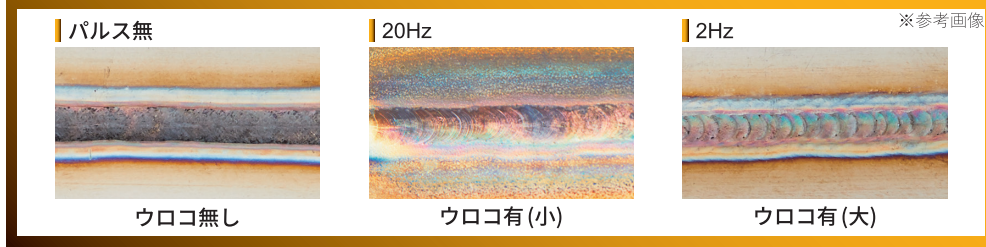
自己保持切替ボタン

トーチスイッチの自己保持ON/OFF切替が可能。

100V/200V兼用 小型・軽量 直流パルスTIG溶接機

パルスとは

周期的に電流に強弱をつけることでアークを調節しビード形状を制御する溶接方法。パルスを用いると入熱を抑えられる為、薄板溶接や板厚差の溶接が可能。低い周波数は広がり大きいアークとなり、板厚違いの溶接や裏波溶接、異種金属溶接に有効。外観はきれいで、大きめのウロコ状のビードができる。高い周波数はアークの集中制が高くアークのふらつきを抑えられ、ビード幅を一定に保ちたい場合や薄板の高速溶接に有効。



電流値とパルス/周波数の組み合わせで様々な設定が可能です。

製品仕様

100V/200V兼用 直流インバータ TIG 溶接機				
品名	STAR GON DC200 (スタルゴン DC200)			
型式	STG-200D			
JAN コード	4991945 032866			
溶接方式	TIG 溶接		手棒溶接 (MMA)	
定格入力電圧	単相 100V	単相 200V	単相 100V	単相 200V
定格入力電流	21.2A	23A	20.4A	28A
定格容量	2.12kVA	4.6kVA	2.04kVA	5.6kVA
定格出力電圧	14.4V	18V	22.8V	26.8V
定格出力電流	110A	200A	70A	170A
定格周波数	50/60Hz兼用			
定格使用率	25%			
高周波/リフトスタート	○(切替可)		-	
電撃防止機能	-		○(ON/OFF 切替可)	
自己保持スイッチ	○(ON/OFF 切替可)		-	
特徴と機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単操作・小型軽量・PFC(力率改善)機能 ・ TIG 溶接パルス機能付 (4段階切替:2Hz,5Hz,10Hz,20Hz) ・ メモリ機能 (電源 ON 時に前回のダイヤル以外の最終設定を保持) 			
電源ケーブル	3.3sq×3 芯 ×3m(接地 3P-250V-20A プラグ付)			
寸法 (幅×奥行×高さ)	150×390×282mm			
本体質量	約8.3kg			

付属品



オプション品



消耗品

品名	型式	棒径(φ)	長さ(mm)	内容本数
2%セリウム入タングステン電極棒	RTT-16	1.6	150	10
	RTT-24	2.4		

品名	型式	溶接材料	棒径(φ)	内容量(kg)
TIG 溶接棒	RGG-81	軟鋼用	1.0	0.5
	RGG-82		1.2	
	RGG-83		1.6	
	RGG-84		2.0	
	RGG-85		2.4	
	RGG-86		3.2	
	RGG-11	ステンレス用	1.0	1.0
	RGG-12		1.2	
	RGG-13		1.6	
	RGG-14		2.0	
	RGG-15		2.4	
	RGG-16		3.2	
	RGG-17		1.0	0.5
	RGG-18		1.2	
	RGG-75		1.6	
	RGG-76		2.0	
	RGG-77		2.4	
	RGG-78		3.2	

※本溶接機は電気用品安全法の技術基準に基づく工業用環境対象のクラスA装置です。家庭環境での使用では電磁障害 (TV・ラジオの受信障害、コンピュータ画面の乱れ等) を引き起こす場合があります。その場合、適切な対策 (同時使用をやめる、アースを接続する、コンセントの共用を避ける、機器同士を遠ざける等) を行ってください。